

平成 29 年度事業報告書

特定非営利活動法人 自遊の広場

1 事業の成果

小規模多機能居宅介護すずかけの家の運営では、すずかけの家がある篠原地区以外からの利用希望者が増えた。

その他の活動としては、各種イベントを通じて、利用者の過ごし方を充実させるとともに、地域との交流を進めることができた。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

ア) 小規模多機能型居宅介護の運営に係る事業

○内容: 29 年度事業計画では、利用者・家族の多様なニーズに応えるため、職員個人、チームの力量アップ、家族・地域住民などの社会資源とのつながりの強化により、小規模多機能のよさである「柔軟さ」「多機能」を培う、という目標を立てた。29 年度は、利用者との関係が深まると同時に、篠原地区を中心に、利用者の素顔(本音)が見えてきた。しかし、本音をつかむのは難しい。何気ない日常のひとこまから見えることもある。その「発見」、職員間での「共有」のため、「にっこりほっこり」に取り組んだ。職員が利用者との関わりの中で、その人の「いいところ」を見つけあうという試みである。利用者一人ひとりの居場所づくりにもつながると考えている。

また、地域の拠点として、「ゆずカフェふじの」や「RUN 伴」に積極的に参加し、地域での多職種協働の追求と発信をすすめた。認知症カフェとして、4 月から毎月 1 回、藤野地域内の場所を変えて開催されている「ゆずカフェふじの」の運営に、すずかけの家も参加した。うち 3 回に、すずかけの家の利用者も参加した。その結果、地域でも少しずつ、「理解」「協力」が得られてきた。地域の人と共に防災訓練をしたり、台風時、自治会と協力し、実際に利用者と避難したこともある。

職員研修としては、前年度に引き続き、ケース検討の内部研修を月 2 回程度実施した。その結果、議論が活発に行われ、介護現場に活かされていることは評価できる。しかし、利用者の多様なニーズに応えるため、勤務体制に余裕がなくなり、外部研修への参加は減っている。

○日時: 通年

○場所: すずかけの家及び訪問家庭、外出先

○従事者: のべ 3,155 人

○受益対象者: のべ 5,789 人

○支出額: 38,190,363 円

イ) おたのしみ講座じじばば自由大学に係る事業

○内容・日時 夏祭り(8 月 10 日)、のびるっこ保育園交流会(9 月 12 日)、元気を祝う会(敬老会)(9 月 21 日)、うどんづくり(1 月 13 日)、津久井在来大豆の味噌作り(3 月 13 日)

○場所: すずかけの家

○従事者: 55 人

○受益対象者: 43 人

○支出額: 0 円(今年度は、上記アより経費を負担したため)

ウ) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業—イベント事業

○内容(日時/場所)

地域との交流を図り、団体の活動を広めるため、次の主催事業を開催した。

・落語会(6 月 11 日/すずかけの家)

地域との交流を図り、団体の活動を広めるため、次の地域イベントに参加した。

- ・RUN 伴+さがみはら(6月3日)
- ・ぐるっとお散歩篠原展(10月9日/緑区牧野・篠原地区)
- ・牧野公民館まつり(10月15日/牧野公民館)
- ・里の市(12月2日/篠原の里)

○従事者:57人

○対象者:620人

○支出額:193,680円

(2)その他の事業

なし